イ　製剤
(ア)　成分規格
ポリオキシエチレングリセリン脂肪酸エステル製造用原体の成分規格を準用する。
(イ)　保存の方法の基準
ポリオキシエチレングリセリン脂肪酸エステル製造用原体の保存の方法の基準を準用する。

⑰　ポリオキシエチレンソルビタン脂肪酸エステル
ア　製造用原体
(ア)　成分規格
本品は、動植物油脂に由来する脂肪酸及びソルビタンのエステルのポリオキシエチレン付加物である。
物理的・化学的性質　本品は、黄色～褐色の液体、半流動体又はろう状の塊である。
確認試験
①　本品0.5g（0.45～0.54g）に無水エタノール５mLを加えて加熱して溶かし、希硫酸５mLを加え、水浴中で30分間加熱した後、冷却するとき、油滴又は白～黄白色の固体を析出する。この油滴又は固体を分離し、分離した油滴又は固体にエーテル５mLを加え、振り混ぜるとき、溶ける。
②　本品１g（0.95～1.04g）に水20mLを加え、加温してよく振り混ぜ、放冷した後、チオシアン酸アンモニウム・硝酸コバルト試液10mLを加え、よく振り混ぜる。さらに、クロロホルム10mLを加え、再び振り混ぜた後、放置するとき、クロロホルム層は、青色を呈する。
純度試験
①　酸価　本品約５gを0.01gの桁まで量り、その数値を記録し、エタノール・エーテル混液（１：１）100mLを加え、加温して溶かし、放冷した後、フェノールフタレイン試液１mLを加え、0.1mol/L水酸化カリウム・エタノール溶液で滴定する。別に、同様の方法で空試験を行い、次式により酸価を求めるとき、その値は、６以下でなければならない。

$$\text{酸価}=\frac{\text{0.1mol/L水酸化カリウム・エタノール溶液の消費量（mL）}\times 5.611}{\text{試料の採取量（g）}}$$

②　重金属　本品1.0g（0.95～1.04g）を量り、重金属試験法第２法により試料溶液を調製し、鉛標準液2.0mLを用いて比較液を調製して重金属の試験を行うとき、試料溶液の呈する色は、比較液の呈する色より濃くてはならない（20μg/g以下）。
③　ヒ素　本品0.5g（0.45～0.54g）を量り、ヒ素試験法第３法により試料溶液を調製し、装置Aを用いる方法によりヒ素の試験を行うとき、吸収液の色は、標準色より濃くてはならない（４μg/g以下）。
④　１，４-ジオキサン　本品約20gを量り、１，４-ジオキサン試験法により試験を行うとき、生ずるピーク高さは、１，４-ジオキサン測定用標準液0.2mLにより生ずるピーク高さを超えてはならない（10μg/g以下）。
強熱残分　1.5%以下（１g）
(イ)　保存の方法の基準
遮光した密閉容器に保存すること。
イ　製剤
(ア)　成分規格
ポリオキシエチレンソルビタン脂肪酸エステル製造用原体の成分規格を準用する。
(イ)　保存の方法の基準
ポリオキシエチレンソルビタン脂肪酸エステル製造用原体の保存の方法の基準を準用する。

⑱　L-アスコルビン酸
ア　製造用原体
(ア)　成分規格
含量　本品は、デシケーター（シリカゲル）で24時間乾燥した後、定量するとき、L-アスコルビン酸（$C_6H_8O_6$）99.0%以上を含む。
物理的・化学的性質
①　本品は、白色の結晶又は結晶性の粉末で、臭いはなく、酸味を有する。
②　本品は、水に溶けやすく、エタノールにやや溶けにくく、エーテル、クロロホルム、ベンゼン又は石油エーテルにほとんど溶けない。
③　本品の水溶液（１→50）のpHは、2.4～2.8である。
④　融点　約190℃（分解）
確認試験
①　本品の水溶液（１→50）５mLずつを量り、過マンガン酸カリウム試液１滴を加えるとき及び２，６-ジクロルフェノールインドフェノールナトリウム試液１～２滴を加えるとき、いずれも試液の色は、30秒以内に消える。
②　本品0.1g（0.05～0.14g）をメタリン酸溶液（１→50）100mLに溶かし、その５mLを量り、これに溶液が僅かに黄色を呈するまでヨウ素試液を滴加した後、硫酸銅溶液（１→1,000）１滴及びピロール１滴を加え、50℃の水浴中で５分間加温するとき、溶液は、青色を呈する。
純度試験
①　比旋光度　本品約2.5gを0.01gの桁まで量り、その数値を記録し、水に溶かし、25mLとし、この溶液につき、旋光度を測定するとき、$[\alpha]_D^{20}$＝＋20.5～＋21.5°でなければならない。
②　重金属　本品1.0g（0.95～1.04g）を量り、重金属試験法第１法により試料溶液を調製し、鉛標準液2.0mLを用いて比較液を調製して重金属の試験を行うとき、試料溶液の呈する色は、比較液の呈する色より濃くてはならない（20μg/g以下）。
乾燥減量　0.20%以下（１g，シリカゲル，24時間）
強熱残分　0.10%以下（１g）
定量法　本品をデシケーター（シリカゲル）で24時間乾燥し、その約0.2gを0.001gの桁まで量り、その数値を記録し、メタリン酸溶液（１→50）50mLを加えて溶かし、0.1mol/Lヨウ素溶液で滴定する（指示薬　デンプン試液１mL）。
0.1mol/Lヨウ素溶液１mL＝8.806mg$C_6H_8O_6$
(イ)　保存の方法の基準
遮光した気密容器に保存すること。
イ　製剤（その１）
(ア)　成分規格
L-アスコルビン酸製造用原体の成分規格を準用する。
(イ)　保存の方法の基準
L-アスコルビン酸製造用原体の保存の方法の基準を準用する。
ウ　製剤（その２）
(ア)　成分規格
本品は、L-アスコルビン酸製造用原体に、賦形物質を混和した粉末又は粒子である。
含量　本品は、定量するとき、表示量の90～120%に相当するL-アスコルビン酸（$C_6H_8O_6$）を含む。